

令和2年度一般会計決算の概要

～令和2年度決算のポイント～

【歳入】

- ・令和元年度に大口納付のあった固定資産税（滞納繰越分）の減少などに伴い、税収が3年ぶりに減へ
- ・普通交付税の増加による地方交付税の増
- ・特別定額給付金給付事業費補助金や新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金などによる国庫支出金の増

【歳出】

- ・会計年度任用職員制度の開始による人件費の増
- ・GIGAスクール構想に係るコンピュータ購入などによる物件費の増
- ・特別定額給付金給付事業などによる補助費等の増

区 分	決算額	対前年度伸率
歳 入	147 億 6,934 万円	25.0%
歳 出	141 億 5,243 万円	29.9%
差 引 残 額	6 億 1,691 万円	△32.8%
翌年度繰越財源	402 万円	△93.8%
実質収支額	6 億 1,289 万円	△28.2%

【歳入の主な内容】

- 1) 町税 49 億 7,573 万円（前年比 1 億 6,849 万円の減（前年比△3.3%））
 - ・町民税：個人所得の増などによる町民税の増（1,143 万円）
 - ・固定資産税：滞納繰越分の減少による固定資産税の減（△1 億 7,106 万円）
- 2) 地方消費税交付金 1 億 1,715 万円の増（同 24.2%）
 - ・地方消費税率引上げの影響による地方消費税交付金の増（1 億 1,715 万円）
- 3) 地方交付税 1 億 4,262 万円の増（同 19.0%）
 - ・基準財政需要額の増加などによる普通交付税の増（1 億 5,610 万円）
- 4) 国庫支出金 35 億 1,391 万円の増（同 256.7%）
 - ・特別定額給付金支給による特別定額給付金給付事業費補助金の増（32 億 6,430 万円）
 - ・新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の増（3 億 4,191 万円）
- 5) 県支出金 5,185 万円の減（同△7.0%）
 - ・明治記念大磯邸園整備に係る事業費の減少による明治記念大磯邸園事業推進補助金の減（△6,620 万円）
- 6) 財産収入 1 億 1,059 万円の減（同△80.3%）
 - ・不動産売払収入の減（△1 億 1,152 万円）

- 7) 繰越金 2億4,968万円の増 (同37.3%)
・前年度繰越金の増 (2億4,968万円)
- 8) 町債 5億3,590万円の減 (同△49.4%)
・明治記念大磯邸園整備に係る事業費の減少による町債の減 (△5億9,980万円)
・大磯港賑わい交流施設整備による町債の増 (1億230万円)

【歳出の主な内容】

- 1) 人件費 2億6,464万円の増 (同12.4%)
・会計年度任用職員制度の開始による報酬及び期末手当などの増 (2億5,434万円)
- 2) 物件費 1億1,521万円の増 (同7.3%)
・GIGAスクール構想に係るコンピュータなどの備品購入による増 (2億1,960万円)
・会計年度任用職員制度の開始による賃金廃止に伴う減 (△1億8,891万円)
- 3) 補助費等 39億7,445万円の増 (同854.4%)
・特別定額給付金給付事業による特別定額給付金の増 (32億6,430万円)
・公営企業会計適用による下水道事業会計繰出金の増 (5億4,872万円)
- 4) 普通建設事業費 8億9,115万円の減 (同△53.1%)
・明治記念大磯邸園整備に係る事業費の減少による減 (△11億1,120万円)
・大磯港賑わい交流施設整備による増 (2億5,920万円)
・月京1号線整備による増 (9,723万円)
・準用河川改修による増 (4,357万円)
- 5) 積立金 2億6,803万円の増 (同31.6%)
・本庁舎建設基金積立金の増 (2億6,700万円)
- 6) 繰出金 5億3,241万円の減 (同△31.2%)
・国民健康保険事業特別会計 2億2,200万円 (△3,721万円) (同△14.4%)
・後期高齢者医療特別会計 4億4,079万円 (△325万円) (同△0.7%)
・介護保険事業特別会計 5億932万円 (4,127万円) (同8.8%)
・下水道事業特別会計 0円 (△5億3,724万円) (皆減)

※ () 内は前年度との増減値